

第5回若手研究者賞記念講演のご案内

INDEX

1. 第5回若手研究者賞記念講演のご案内
2. 第20回シンポジウムでいただいたご質問への回答
3. 次回シンポジウムの開催概要
4. おわりに

1. 第5回若手研究者賞記念講演のご案内

自然科学研究機構では、新しい自然科学分野の創成に熱心に取り組み成果をあげた優秀な若手研究者を対象として「自然科学研究機構若手研究者賞」を授与しています。

この度、同賞の第5回受賞者による記念講演会を、下記の通り開催することとなりました。

本記念講演では、最先端の学術研究に触れ、科学に対する興味をより一層持っていただくことを期待し、高校生にも分かり易く講演を行います。  
ぜひ、学生から一般の方まで、奮ってご参加ください。

タイトル：「宇宙・生命・脳・物質・エネルギー」若手研究者による Rising Sun V  
—自然科学研究機構若手研究者賞記念講演—

日時：2016年6月5日（日）12:30～17:00  
(ミート・ザ・レクチャーズ 16:10～17:00)

会場：日本科学未来館 7階 未来館ホール  
東京都江東区青海2-3-6

参加費：無料

LIVE配信：Ustream・ニコニコ生放送にてLIVE配信を行います。

※当日参加も受け付けております。

◇プログラム◇

12:30～ 授賞式

12:40～ 記念講演

12:40～13:15 「惑星系の誕生を探る」 深川 美里

13:20～13:55 「地上に太陽をつくる  
—ヘリカルプラズマ一億度への挑戦—」 永岡 賢一

13:55～14:05 休憩

14:05～14:40 「オリゴデンドロサイトの分化・成熟と  
髄鞘形成に関わる分子機構」 久保山 和哉

14:45～15:20 「脳機能に必要な不可欠なタンパク質相互作用」 横井 紀彦

15:25～16:00 「超短パルスレーザーで新しい光を創る」 野村 雄高

16:00～16:05 閉式

16:10～17:00 ミート・ザ・レクチャラーズー講演者と直接語らうー

詳細は [http://www.nins.jp/public\\_information/05risingsun.php](http://www.nins.jp/public_information/05risingsun.php)まで。

◆高等学校生徒の旅費支援事業終了のお知らせ◆  
5/20をもって締め切りました。

---

## 2. 第20回シンポジウムでいただいたご質問への回答

---

### 第20回自然科学研究機構シンポジウム

「生命の起源と進化」 地球から系外水惑星へ

(3/13 (日) 一橋講堂にて開催)

ではたくさんの方にお越しいただき、誠にありがとうございました。  
当日、いただきましたご質問への、講演者からの回答がそろいましたので、  
Webページにて公開いたしました。

「講演者への質問とその回答」 (第20回自然科学研究機構シンポジウム)  
[http://www.nins.jp/public\\_information/QandA/QandA20.php](http://www.nins.jp/public_information/QandA/QandA20.php)

#### 【ご質問の一例】

乾燥、凍結状態で生きのびる理由は、何なのか。  
生物が生きのびるといふことは、何が残るからか、条件は？

#### 〈回答〉

乾燥、凍結状態で生き延びられる理由は、細胞内の水の消失や凍結に対して  
細胞の組織が障害を受けないようなメカニズムを持っていることが挙げられます。  
特に膜脂質組成や不凍タンパク質が重要です。高等植物では種子で休眠しますが、  
極域に生育する藻類や蘚類、地衣類は再び水が供給された時に即座に光合成を  
再開できるようにそのままの姿で休眠します。  
地衣では乾燥したものに水をかけると秒単位で回復が見られます。  
回答者：中央大学 小杉真貴子 助教

他にもたくさん興味深いご質問と回答を掲載しております。  
Webページをご覧くださいませと幸いです。

---

## 3. 次回シンポジウムの開催概要

---

### 第21回自然科学研究機構シンポジウム

開催日：2016年10月10日 (月・祝)

会場：東工大蔵前会館 (大岡山キャンパス)

参加費：無料

主催：大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

テーマ：「地球にやさしいエネルギーの未来」

内容：核融合から始まり、再生可能エネルギーなどの基礎研究やその応用可能性まで  
の話題を取り扱う。

(上記の内容は変更の可能性があります。)

---

## 4. おわりに

---

今回のメールマガジンでは第5回若手研究者記念講演の詳細をご連絡いたしました。  
2012年から毎年開催している本イベントも今回で5回目となります。

毎年若手研究者たちが研究内容はもちろん、何をきっかけに研究者の道に進み、何を目標としているのかを熱く語ります。  
講演終了後には、研究者と直接対話できるミート・ザ・レクチャラーズも行います。第一線の研究者と語り合える貴重な機会ですのでぜひご参加ください。  
本イベントはLIVE配信も行いますので、ご来場できない方はこちらを利用ください。

最後までご覧いただき、ありがとうございました。  
ご意見等ございましたら、nins-kikakurenkei@nins.jpまでお寄せ下さい。